

つしそうせい
津市創成

なかだ こうへい
中田 耕平

録画映像



問

学校現場における平和教育について問う

令和7年は第二次世界大戦の終戦から80周年となる。80年が経過することで、戦争体験者も少なくなり、悲惨な体験談を聞くなどの平和教育の実施が難しくなると考えられる。また、昨今では児童生徒がSNS等で間違った知識を得てしまうリスクも高まっているが、学校現場において平和教育にどのように取り組んでいるのか。また、伝える側となる教職員に対する取り組みは。

答

国語科、社会科、道徳等で戦争と平和について学んでいる

小学校では、戦争文学を通して戦争に触れ、登場人物の気持ちや戦争の悲惨さ、物語に込められた平和への思いなどを考え学ぶ学習を行っており、中学校では、小学校で学んだことを踏まえ、歴史的事実の理解のみにとどまらないよう、戦争と平和について考えたことを自分事として捉え、調べたことから自分たちにできることを話し合う機会を設けている。

また、教師や周りの大人が歴史的事実や戦争に係る施設がどこにどのような形で残っているかを知ること重要であると考えており、本年度は新規採用者等を対象に研修会の開催を予定している。

その他の質疑・質問

- 久居こどもの遊び場づくり事業について
- 津市立三重短期大学の今後について
- 市内のグレーチングの盗難対策について
- 自主防災会への貸与物の管理について
- 津市制20周年記念事業について

香良洲町の歴史資料館。展示物が充実しており、小学生の校外学習等で利用してはどうか



つみらい
津みらい

かしわざ
柏木 はるみ

録画映像



問

津市内の水道管の老朽化対策について問う

令和7年1月に一身田町地内で水道管等破損事故が発生した。全国の多くの場所で水道管の破損による大規模な漏水が起きており、背景には古い水道管の更新や耐震化がなかなか進まないことが考えられるが、津市における水道管の老朽化対策の進捗状況および今後の進め方は。また、水道工務課が2課に分かれた後、両課の間での情報共有は適切に行われているか。

答

A1等の技術を取り入れながら計画的に進めていく

第2次津市水道事業基本計画に基づき事業効果が高い箇所から老朽化対策を進めており、令和5年度末時点における同計画の進捗率は、基幹管路が67.7%、その他管路が79.5%となっている。

現在、令和10年度からの第3次津市水道事業基本計画の策定に向け、今後10年間で実施すべき優先順位や規模等について検討を始めており、今後はA1等のさまざまな技術を取り入れながら計画的に老朽化対策を進めていく。また、組織の見直しにより2課体制となった水道整備課と水道維持課の業務は関連していることから、日々情報共有を図りながら業務に当たっている。

その他の質疑・質問

- 熱中症対策について
 - クーリングシェルターの現状は
 - 市民向け熱中症対策は
- 安全、安心な周産期医療体制について
 - 津市における過去10年間の出生数と増減率は
 - 病院での出産と助産所等での出産の割合は
 - 周産期医療の充実に向けたロードマップは

指定暑熱避難施設であることを示す「クーリングシェルター・マーク」

